

戦争と文学

慶應義塾大学文学部藝文學會シンポジウム

2016年12月16日（金） 15:00~17:00

慶應義塾大学 三田キャンパス 北館ホール

講師 関根謙（中国文学専攻）

譚璐美（作家）

長堀祐造（経済学部教授）

司会 杉野元子（中国文学専攻）

関根謙

本塾文学部教授。福島県郡山市生まれ。本塾大学院修士課程修了。博士（文学）。専門は中国現代文学、特に中国抗戦時期の都市文学、海外華人文学。著書に『抵抗の文学—国民革命軍将校阿壠の文学と生涯』（慶應義塾大学出版会、2016年）、翻訳に『旧跡—血と塩の記憶』（李銳原作、勉強出版、2012年）、『飢餓の娘』（虹影原作、集英社、2004年）など。

譚璐美

作家、本塾文学部訪問教授。東京生まれ。慶應義塾大学文学部卒業。著書に『中国共産党を作った13人』（新潮新書、2010年）、『柴玲の見た夢—天安門の炎は消えず』（講談社、1992年）、『新華僑—老華僑—変容する日本の中国人社会』（文春新書、2008年、共著）、『日中百年の群像—革命いまだ成らず』（上下巻、新潮社、2012年）、『帝都東京を中国革命で歩く』（白水社、2016年）ほか多数。

長堀祐造

本塾経済学部教授。博士（文学）。専門は中国近現代文学、特に魯迅とトロツキー周辺。著書に『魯迅とトロツキー』（平凡社、2011年）、『世界史リブレット・陳独秀』（山川出版社、2015年）、訳著に『莫言『変』（明石書店、2013年）、共訳著に『初期中国共産党群像—トロツキスト鄭超麟回憶録』（平凡社東洋文庫、2003年）、『陳独秀文集』第1巻（同前、2016年）など。

主催 慶應義塾大学藝文學會

共催 慶應義塾大学中国文学会

Email: geibun@flet.keio.ac.jp

Web: <http://flet.keio.ac.jp/geibun/>

シンポジウム終了後には、懇親会が生協食堂にて開催されます（申し込み不要・無料）。ふるってご参加下さい。